

世界 上野焼「子ども作陶教室」
世界に一つだけの器づくりに挑戦

中央公民館で7月12日に子ども育成連絡協議会主催の上野焼「子ども作陶教室」が行われました。80人の小中学生が参加し、上野焼共同組合の11人の講師からアドバイスを受けながら茶わんやお皿、カップなどの作陶を体験。小さな陶芸家たちは400年以上の歴史と伝統を誇る「上野焼」の魅力に直接触れながら、オリジナルの作品づくりを楽しみました。



↑プロの陶芸家に直接教わりながら、真剣な表情で作陶に挑戦する子どもたち。

↓二年連続の最優秀賞。県新社会推進部より表彰を受ける市場小6年生の児童。



地域 第53回子ども交通安全大会表彰式
地域が一丸となり最優秀賞を受賞

7月4日に中間市で子ども交通安全大会が行なわれ、市場小を代表して6年生20人が出席しました。この大会は交通安全活動に積極的に取り組んでいる35の小学校を交通安全運動実践優秀校として表彰するもので、市場小は子ども主体の取り組みが評価され最優秀賞を受賞。児童たちは受賞したことで、日頃の交通安全活動への意識をさらに高め、関心を深めました。

明 第65回「社会を明るくする運動」
明るい地域づくりに向けて団結を

7月8日、田川地区の保護司や行政職員35人が犯罪や非行のない明るい地域づくりに向けて街頭啓発活動を行いました。「更正保護の日」である7月1日から一か月を強調月間として、全国的に「社会を明るくする運動」が行われています。参加者は犯罪や非行を防止し、立ち直りを支えるためには地域の力が必要であることを住民に訴え、理解と協力を呼びかけました。



↑犯罪のない町づくりへの協力を呼びかけながら啓発パンフレットを配布しました。

↓読み書きができなかったおばあちゃんとの思い出を、涙ながらに語る川口さん。



無 同和問題啓発強調月間講演会
無知からの差別 正しい教育を

福智町人権講演会が7月15日、地域交流センターで行われました。被差別部落に生まれた講師の川口泰司さんは、自身の生い立ちや体験を交えた講演や執筆活動を行ないながら、全国で精力的に解放運動に取り組んでいます。「差別っていったいなんやねん」と差別の本質を本気で語りかけながら、来場者たちに人権教育の必要性や解放運動の意義を力強く訴えました。

↓福智「ならでは」の上野焼を手にしながら、軽妙な掛け合いで笑いと談笑する華丸・大吉と中川家の4人。



人 「華丸・大吉のなんしよう?」の撮影
人気芸人が町の面白さを発信!

TNCテレビ西日本で毎週金曜日に放送中の「華丸・大吉のなんしよう?」の撮影が、7月24日に福智町で行なわれました。この番組は、福岡を代表するお笑いコンビ「博多華丸・大吉」のふたりが県内の市町村を散策し、地元の人と触れ合いながら、その地域「ならでは」の魅力を発信する地域密着型バラエティー。今回はゲストに人気お笑い芸人「中川家」のふたりを迎え、博多弁と関西弁で軽快なトークを繰り広げながら町内を巡りました。福智の魅力を満喫した収録の様子は、8月14日の19時から放送予定です。

夢 銀座コージーコーナー「夢クリコンテスト2015」
夢のクリスマスケーキが現実に!

子どもが描いたケーキの絵が本物になる「夢のクリスマスケーキコンテスト」。銀座コージーコーナーによる夢のような企画で、6月28日に関係者がひらばる幼稚園を訪れました。年長組40人は思い思いに夢を膨らませながら、味や飾りにまでこだわった色とりどりのケーキをデザイン。全国応募の中からグランプリに選ばれた作品は、クリスマスに商品化されます。



↑「こんなケーキがあったらいいな」と想像しながら理想のケーキを描く園児たち。

↓一人ひとりに啓発グッズを手渡ししながら人権意識の高揚を呼びかける参加者。



人 同和問題啓発強調月間を町民へアピール
人権問題に正しい理解と認識を

7月の「同和問題啓発強調月間」に合わせ、7月1日に町内各地域で差別のない社会を目指して街頭啓発活動が行われました。行政職員などの参加者34人は、町内31の企業をはじめ商店街や駅前など町内5か所で啓発タオルとチラシを配布。同和問題を是れとす人権問題を解決するため、町民一人ひとりに意識の高揚や啓発行事への参加を呼びかけました。